

科目名	サウンドコンテンツ							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	川澄伸一		教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア	

【科目の目的】

「音」に関連するコンテンツへの理解を深めて、スキル・発想・意識 を身につけ、より良い作品を生み出せるようにする。

【科目の概要】

音響的に優れた作品から、音作りの概念や方法を学びます。

【到達目標】

音の処理を基本的な部分から理解し、音の変化の仕組みもイメージ出来るようにする。音の関する単位や様々な基本的な数値についてもしっかりと記憶して頂き、プロフェッショナル・エンジニアとしての知識を豊富にしていく。近年のデジタル化により音の記憶フォーマットも増えている。これからの新しい技術に対応していくためにもアナログ的な基本技術も理解していくことを目標とする。

【授業の注意点】

この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
録音機器の理解	HDDレコーダーの仕組みがわかる、	テープレコーダーの仕組みがわかる。	レコードに録音していた事を知っている	残念ながら、レコードを聴いたことがない。	レコードを知らない。
音楽メディアの理解	CDの基本スペックがわかる。	CDの仕組みがわかる。	レコードの仕組みがわかる。	レコードの回転数がわからない。	音が出る仕組みを理解していない。
デジタルフォーマットの理解	コンテナフォーマットを理解している。	ハイRezの特徴を知る。	ハイRezのスペックを知っておる。	ハイRezという言葉聴いたことは、ある。	ハイRezという言葉知らない。
サラウンドの理解	イマーシブサウンドを知っている。	サラウンドのフォーマットを理解している。	サラウンドの基本を理解している。	サラウンドという言葉聴いたことは、ある。	スピーカーの設置ができない。
DAWの理解	様々なDAWソフトウェアを知っている。	DAWのレイテンシーを理解している。	Pro Toolsの基本を知っている。	Pro Tools を知っている。	DAWを知らない。

【教科書】

【参考資料】

サウンドレコーディング技術概論（社団法人 日本音楽スタジオ協会）

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験・授業内課題

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		サウンドコンテンツ			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ハイレゾとレコード	最新コンテンツフォーマットを知る	ハイレゾスペック	ハイレゾと呼称するための条件を知る		
2	レコードについて	レコードの理解を深める	録音の始まり	エジソンの蝋管蓄音機に始まるアコースティック録音を知る		
3	テープレコーダー	テープレコーダーの理解を深める	電気録音の始まり	ワイヤーレコーダーに始まる電気録音を知る		
4	音楽メディアの変遷	音楽メディアの歴史を知る	音楽を楽しむためのメディア	レコードからCD、そしてノンパッケージまで、音楽メディアの変遷について知る		
5	デジタルフォーマット	フォーマットの知識を深める	デジタルフォーマット	各デジタルメディアの基本フォーマットを知る		
6	サラウンド1	サラウンドの歴史を知る	映画音響の歴史	映画に始まるマルチチャンネル再生の歴史を知る		
7	サラウンド2	サラウンドの理解を深める	サラウンドシステム	音楽コンテンツの将来性を考察する		
			サラウンドの手法	サラウンドの表現パターンを知る		
8	最新音響機器レポート	最新音響機器を知る	Inter Bee レポート	最新機器の認知		
9	マルチトラックレコーディング	マルチトラックレコーディングを知る	マルチトラックレコーダー	音楽録音における画期的な発明である、マルチトラックレコーダーを知る。		
10	DAW 1	DAWの変遷を知る	宅録の始まり	自宅録音=宅録とカセットMTRについて知る		
11	DAW 2	DAWの理解を深める	DAWの現在	デファクトスタンダード Pro Toolsの理解を深める		

12	マスタリング 1	マスタリングとは何か知る	音楽制作の最終作業	音楽コンテンツの最終作業、マスタリングについて知る
13	マスタリング 2	マスタリング作業を知る	マスタリングの必要性	マスタリングの実際の作業について知る
14	ラウドネス	ラウドネスについて知る	ラウドネスについて 放送レベルのラウドネス	人間の聴感特性「ラウドネス」について知る 放送レベルの平均化が目的のラウドネスについて知る
15	復習	後期復習	テスト対策	後期復習をして期末テストの対策をする
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他				
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった				
備考 等				